

ビジクリア



財団法人 脳神経疾患研究所附属
総合南東北病院 消化器センター長
西野徳之 (にし のりゆき) 先生

1987年自治医科大学卒業、同年旭川医科大学第三内科研究生。1994年利尻島国保中央病院に院長として勤務。その後、市立根室病院内科医長、総合南東北病院消化器内科科長を経て、2007年より現職。日本消化器病学会指導医・東北支部評議員、日本消化器内視鏡学会指導医・東北支部評議員

ビジクリアの特徴

従来、大腸内視鏡検査の前処置に用いられる腸管洗浄剤は液体が主流でしたが、2007年に承認されたビジクリアはリン酸ナトリウムの錠剤です。さらに、一番の大きな特徴は、お茶や水などの水分で服用が可能という点でしょう。液体の腸管洗浄剤の場合、味やにおいに抵抗があり2リットルも飲みきれないという方が多いですが、ビジクリアの

場合は普段飲み慣れている水分での服用が可能ですから、大変飲みやすいという意見をいただいています。患者さんの受容性も非常に高く、特に以前液体の腸管洗浄剤で前処置を行った経験がある方でビジクリアを使用した方は、検査後に感想を聞くとほとんどの方が「次に検査を行う時も前処置はビジクリアがいい」とおっしゃいます。

服用方法

15分ごとにビジクリア5錠を200mlの水分で服用することを10回繰り返し、合計50錠、2リットルの水分を約2時間30分で服用していただきます。このとき用いる水分は、水、お茶、またはウーロン茶としています。基本的に前処置は、検査当日に病院に来てから行います。

副作用や注意点

一般的には嘔吐や悪心などの副作用が報告されていますが、私が今までビ

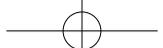
ジクリアを処方してきた中では、このような副作用は経験していません。また、錠剤が比較的大きいため、飲みにくいといって途中で服用を中断した方はいましたが、重篤な副作用や健康上の問題から中断した方はいませんでした。安全性は、液体の腸管洗浄剤と比べても大差はないと思います。

しかし、電解質バランスが崩れる恐れがあるため心臓疾患・腎臓疾患のある方、70歳以上の高齢者の方、また、潰瘍性大腸炎の活動期で状態の悪い方やクローン病で狭窄のある患者さんへの処方とは避けています。

洗浄効果

液体の腸管洗浄剤の場合、まれに残便が見受けられることがあります。ビジクリアで残便があったことはほとんどありません。そのため、便に対する洗浄効果は良いと思います。

ただ、ビジクリアはリン酸ナトリウムを錠剤にする際に用いた結晶セルロ



スの残渣が腸壁に付着することがあります。ですが、この残渣は水で簡単に洗い流して除去が可能ですので、特に観察に大きな支障はありません。医師側の手数は増えますが、患者さんの苦痛を和らげることができればいいのではないかと考え、私はビジクリアを選択しています。

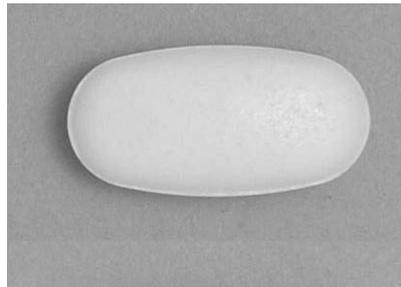
メッセージ

大腸内視鏡検査は一生に一回受けられたいというのではなく、炎症性腸疾患ではない方でも2年に一回は受けていただきたい検査です。そういった意味でも患者さんの受容性が高いビジクリアは、状態が安定している方であれば一度は試していただきたい前処置法です。まだビジクリアを使ったことのない方は、まず主治医に相談してみたいかがでしょうか。前処置法のひとつとして、ビジクリアを一度使用した上で、今後自分に合った前処置薬をリクエストし、きちんと大腸内視鏡検査を受けていただきたいと思います。

目で見てわかるビジクリア



1. ビジクリア錠はこのようなボトルに入っています。他に薬に添付されているものは、専用トレイ、専用コップ、飲み方／排便確認シートです



2. ビジクリア錠の大きさは、およそ縦 8.8mm × 横 17.6mm で、約 6.2mm の厚さがあります。普段飲んでいるペンタサと比べるとちょっと大きめです



3. これが1回に飲むビジクリアと水分の量です。これを10回繰り返し服用します。この時用いることの出来る水分は水、お茶、またはウーロン茶です



4. 飲み方／排便確認シートに1回ごと記入しながら、服用します。ビジクリアを服用後、約1時間30分が経過したあたりから排便が始まります